

# 令和4年度八代市ケーブルテレビ管理運営審議会 第1回審議会 会議録

日時：令和4年10月28日（金）15：00～

場所：八代市役所 206・207号会議室

## 【出席者】

中村市長（次第4．諮問後、退席）

「委員」

（会長）川井委員、（副会長）磯谷委員、平野委員、森委員、平木委員、徳永委員、田中委員、森永委員

「オブザーバー」

（九総通）岩崎課長、永田検査官

「事務局」

（総務企画部）稲本部長、田中次長、（デジタル推進課）鋤田課長、田中課長補佐、坂本係長、村田主任、

（坂本支所）井上主任、（東陽支所）高山参事

「指定管理者」

（テレビやつしろ株式会社）古川部長

進行：田中課長補佐

- ・審議会の公開の可否について

→異議なし

1. 委嘱状交付兼委員紹介
2. 市長挨拶
3. 会長・副会長選出  
会長に川井委員、副会長に磯谷委員を選出。
4. 諮問
5. 会長挨拶
6. 審議

議長：川井会長

（1）諮問事項審議

八代市ケーブルテレビ事業のあり方（案）について

- ・事務局から説明

～～以下、質疑応答～～

## 【委員】

坂本町では当初、テレビ、IP電話、告知放送の3点セットだったが、IP電話は終了した。

告知放送は坂本町全体に繋がっており、集落毎、地区ごと（8地区）、町全体の3パターンの使い方ができる。どこの集落も有線放送は廃止し、告知放送始めたので、無くなると大問題になる。

令和2年7月豪雨においては、告知放送にて避難指示ができたから多くの人が助かった。

ダム放水時にも放送が流れる。

テレビの移行については住民も納得すると思うが、告知放送の廃止は反発があるだろう。

連絡方法がないため、どうにか利用できるよう検討を。または代替策を。終了となれば早目の周知をしてほしい。

**【事務局】**

防災無線や地区毎に利用できるインフォカナルは？

**【委員】**

防災無線は雨天時間こえにくい。告知放送は室内にあるから聞こえないことはない。

告知放送があったから豪雨災害の被害が少なかった。

**【事務局】**

インフォカナルで戸別受信機の運用もしている。代替方法を委員さんにお伺いしながら丁寧に対応したい。

**【委員】**

告知放送以外連絡網がない。告知放送を廃止すると有線放送を復活しないといけない。

**【委員】**

①泉地域では人口減少が今後加速化。76歳以上：3割、70歳以上：46%、65歳以上：6割。ガラケーが多く、スマホに抵抗。情報源はテレビ。

年金生活者がほとんどのため、費用負担が増えないようお願いしたい。

②各家庭の固定電話を光電話に切り替えることで料金が安くなるならないか提案。固定電話1,700円→光電話550円。

③コストを下げる方法として、伝送路から引込後のゲートウェイを2～3世帯で共有することはできるのか？その場合の光の契約者、費用分担はどうなるのか？

④公共のWi-Fi、フリーWi-Fiを市として提供し、地域住民の利便性を向上させてほしい。

**【事務局】**

①新放送サービスでの費用負担は現行と同程度額を想定。

④公共のWi-Fiは市全体の視点で考えていかなければならない。

②事業者と協議して、できるだけ導入ができるよう今後検討。

③技術面、通信事業者としてサービスの可否等を調査し、わかったならば次回回答。

**【委員】**

泉地域でも防災無線を取り外した。高齢者は無線でお知らせがないから不安がっています。個別無線設置の費用は？

**【事務局】**

戸別受信機は無料。携帯電話がない、屋外放送が聞こえない場合に対応している。  
危機管理課が担当で、まずは支所に言っていただければ。

**【委員】**

- ①自主放送がエリア内同一番組になるとはどうなるのか？
- ②現行の3地域番組の評価は？
- ③インフォカナルを利用している。PC等で入力して配信しているので、なかなか難しい面がある。

**【事務局】**

- ①放送事業者の番組制作による。  
仮にテレビやつしろの場合、市街地+東陽・泉・坂本の番組を盛り込んで1つの番組放送になる。  
放送事業者次第で考え方が変わるので、仕様に入れて選定したい。
- ②年に1回番組放送審議会を開催し、ピックアップしたいいくつかの番組を各委員さんに見ていただき、良い点、改善点を指定管理者のテレビやつしろへ伝え、よりよい番組作成に努めている。

**【委員】**

新放送サービスでの評価はどうなるのか？

**【事務局】**

新放送サービスは民間で運営するので、市として関与難しいと思うが、今後の検討課題としたい。  
新放送サービスは、市の補助のもと運営していただくので、利用者のご意見を市から反映していきたいと考えている。

- ③インフォカナルは行政からの連絡網。いろいろご意見をいただいているところ。  
よりよい運営ができるよう計画していきたい。

**【副会長】**

高齢地域は、高齢者の目線が大事。「インフォカナル使って下さい。スマホで見れますよ。」と言われても、持っていない。「家族でスマホを持っている人から伝えてもらう。」というのは通らない話。戸別受信機は世帯にスマホ所持者がいれば置けないような縛りがあったと記憶している。

せっかく新しく始まるのであれば、ご高齢の方の運用に目線を注いでいただけると安心感も増すのではないかと。

今までの防災無線は地区毎に使えていたのが、インフォカナルでは全部。システム上仕方ない。  
私たちはスマホで通知が来れば見れるが、スマホとセット、スマホは料金が高い。高齢者にスマホは難しい。必要な入力等も相談（検討）してもらって、結果を説明会で伝えてもらうのがふさわしい。

**【委員】**

戸別受信機はログが残るので繰り返し使えるのはよい。ところが、範囲が広すぎて関係ないところが残る。細かい運用が必要。

台風14号でコミセンが避難所開設されたが、戸別受信機が鳴らなかったと聞いている。

**【事務局】**

今後、適切な対応をしたい。次回ご回答いたします。

**【委員】**

新しくなると使いづらくなることが多い。昔の防災無線も。スピーカーが大きくなったので、設置数が減って聞こえにくくなった。

告知放送は再放送ができる。留守の時などの連絡網としてすごく便利。

廃止となれば住民にどのように説明するかが非常に大事。良い方式を。

**【委員】**

坂本でも防災無線は外したのか？

**【委員】**

外した。だから問題。

**【委員】**

防災無線を残しておくというのは可能だったのか？

**【事務局】**

当時の検討の上でなされたと思います。

**【委員】**

すごく便利だったのでなぜ外したのかと住民は言っている。

**【事務局】**

エリアが広くなれば関係のない情報も届く。地区を限定した利用ができるか今後の課題となる。できるだけ良い方向に変えたいと思っている。

**【委員】**

若者ならいいが、高齢者には難しい。

《まとめ》

【会長】

アナログからデジタルに移行する時代の過渡期で、両方の問題点を一挙に解決するというのも無理な点がありますが、時代の流れがデジタルによって行政の効率化と迅速化、それを目指してきているので、課題が出たところは1つずつ拾い上げながら前へ進んでいただければと思います。

今回、各地域から体験を元に貴重なご意見を出していただきまして、市の方も現時点で答えられる範囲内で答えていただいたと思います。部長の方から、次回の審議会において準備できるものについては準備して、ご説明したいという意向もありましたので、他にご意見がなければ第1回目の管理運営審議会を終わらせていただきたいと思います。

(閉会)